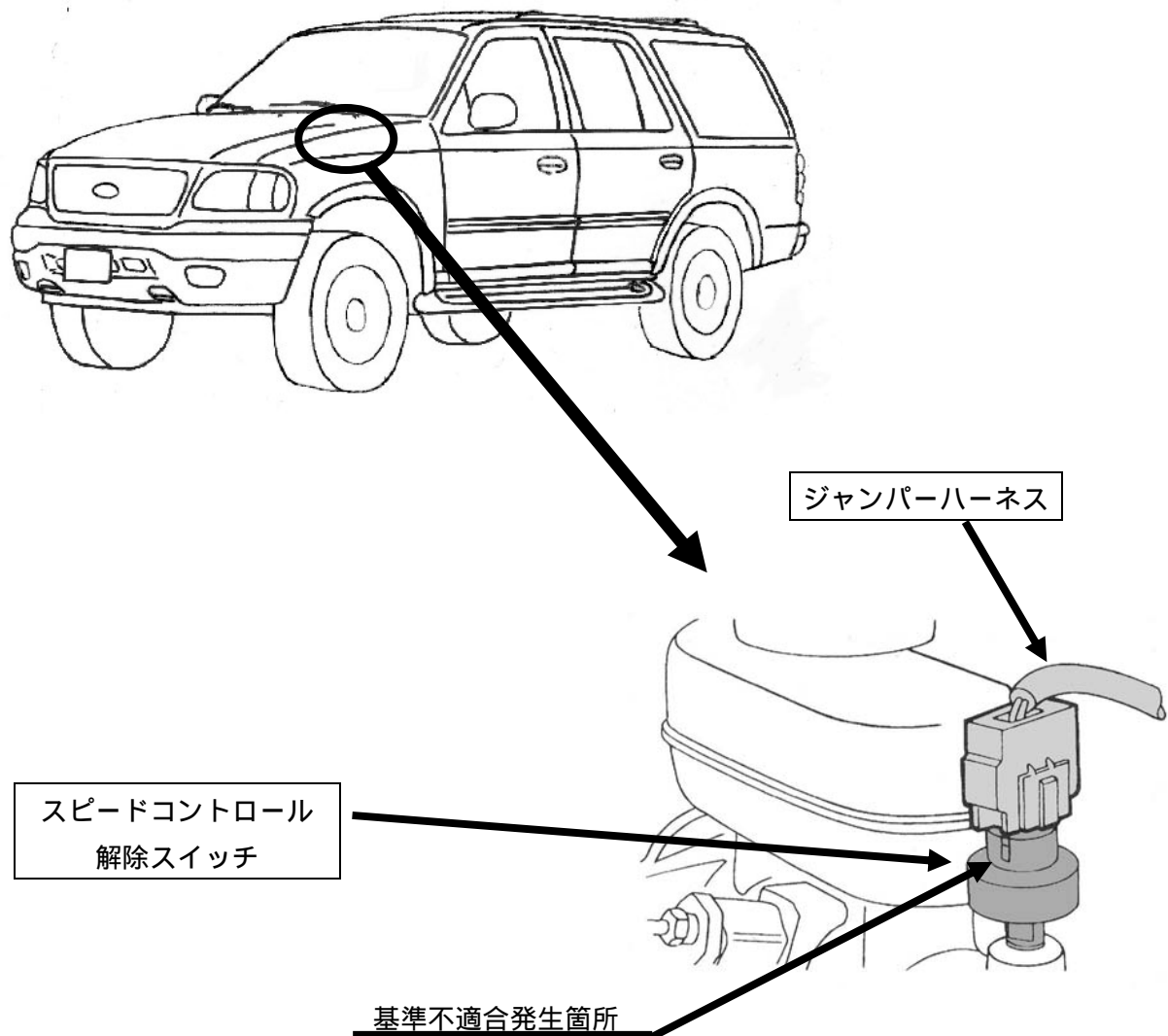


改善箇所説明図



マスターシリンダーに取り付けられている定速走行装置解除スイッチにおいて、当該解除スイッチ内部のシール構造が不適切なため、ブレーキ液が漏れて内部の電気端子にかかり、接点が腐食することがある。そのため、スイッチ内部の抵抗値が高くなり、スイッチが過熱されて溶解し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容：全車両、定速走行装置解除スイッチ及び配線を対策品に交換する。

識別：ボンネット右側ヒンジ部に黄色いペイントを塗布する。

注：□ は交換部品を示す。